

兵庫県学校支援地域本部事業

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育む仕組みづくりを進めます！

学校支援地域本部事業とは？

【趣旨】

地域住民が学校の教育活動を支援するための体制整備

- 教員の子どもと向き合う時間の拡充
- 社会教育で学んだ成果を活かす場の開拓
- 地域の教育力の活性化

学校・家庭・地域が果たすべき教育的機能を十分に発揮することができるよう三者が緊密に連携し、学校の教育活動を支援するため、地域の人たちがボランティアとして学校の求めに応じた支援活動を担っていただく事業です。

これまで各学校では、地域のボランティアの協力を得ながら学校運営や教育活動を行っていますが、学校支援地域本部は、そうした取組をさらに広げるものです。

【組織】

現在、県下では、1市町ごとに1本部が設置され、その本部にはコーディネーターが配置されています。このコーディネーターは、学校支援ボランティアの人材バンクを作成したり、学校の地域ボランティアをを求める依頼に応じて、保護者や地域住民等らに学校支援のボランティアとして活動してもらうよう、学校と支援ボランティアの関係を調整します。



市町学校支援地域本部

- 学校支援活動の企画と実施
- 地域コーディネーターの配置、広報活動、人材バンクの作成

地域コーディネーター



- 学校支援ボランティアバンクの作成と管理
- 依頼に応じたボランティアの確保、初期交渉
- 学校応援ボランティアの基礎研修の実施

学校支援ボランティア人材バンク



- 学校の活動に参加する意欲のある地域住民
- 様々な有資格者、高い専門性、特技や技能を有する人材

依頼



調整



活動依頼・調整



登録



学校



学校支援の希望

- 学校支援活動
- 校内環境整備
- 登下校安全確保
- 部活動補助 など

地域住民



保護者、学生、退職者

地域のスポーツ・文化団体

様々な資格、経験、技能を持つ人 等

支援活動

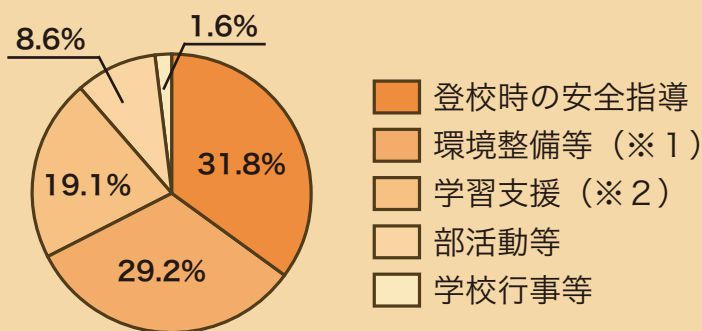


学校が学校支援地域本部事業を活用することで期待できること

- 子どもたちが地域の様々な世代の人たちと交流することにより、子ども達に「社会性」や「信頼関係」を学ぶ機会を与えます。
- 子どもたちと地域の人たちとの関わりをとおして、地域の絆が回復され、子どもたちにとって安全で安心な地域づくりにつながります。
- 従来学校が個々に依頼していたことを、学校支援地域本部の地域コーディネーターが行うことや、ボランティアが学校の支援を行うことにより、教員の子どもと向き合う時間の拡充が期待できます。
- コーディネーターがもつ幅広い情報から、学校の希望に応じたボランティアを調整するため、幅広い人たちからの支援が期待できます。

学校支援ボランティアの活動例

【支援活動内容順】



【※1 環境整備等種別内容順】

1 学校図書室の環境整備	61.2%
2 花壇整備・植木剪定等	36.2%
3 施設・備品等の補修、清掃等	1.8%

【※2 学習支援種別内容順】

1 読み聞かせ	52.5%
2 総合的な学習の時間	20.2%
3 特別活動 (学校行事以外)	6.8%
4 外国語活動・外国語	3.9%
5 体育 (保健体育)	2.5%
6 社会	1.8%
7 理科	1.8%
8 国語	1.7%
9 家庭 (技術・家庭)	1.2%
10 生活	0.9%

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てるために、積極的に、学校支援地域本部事業を活用しましょう！

